

# 深化した地域貢献・産学官連携機能に基づく 信州大学URAシステムの強化と定着

～地域に根ざし世界に拓く『研究・産学官連携拠点』  
を形成・構築・拡大できるURAの育成、確保、普及～

国立大学法人信州大学  
産学官連携推進本部  
URA室長 杉原 伸宏

# 信州大学の研究推進戦略とURAシステムの位置付

<中期計画における信州大学の研究推進戦略>

◆本学の重点研究領域であり、世界的競争力を持つ、ナノマテリアル（ナノカーボン）やファイバー分野で形成した『研究・産学官連携拠点』を拡大・発展させる。

※参考：複合材料および繊維材料の2カテゴリで、世界被引用数上位50大学にランクイン

これにより、研究を更にワンランクアップさせると同時に、深化した産学官連携機能により産業振興に寄与する。

<研究推進戦略におけるURAシステムの位置づけ>

既存URA室を含め、研究支援組織を一極化して機能強化する『総合研究推進機構』を平成25年度に設置予定

学長直轄の研究戦略企画会議の下で、URA室は以下を推進し、更なる研究成果の創成と蓄積、社会還元を担う。

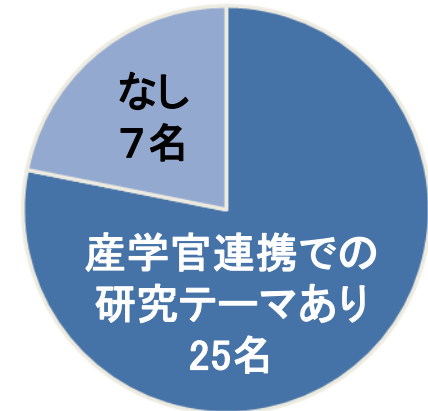
- ◆『研究・産学官連携拠点』を形成・拡大・発展させ、優れた研究者や学生が先進的な研究を推進できる企画の立案
- ◆効果的な研究資金獲得や研究マネジメント

この実現のため、平成23年度から戦略的に自主経費を投入してURAを雇用しているが、このたび採択された文科省：URAシステム整備事業を活用して、URAの更なる増員・強化充実を行う。

# 信州大学の研究推進戦略の背景

◇信州大学では、基礎研究段階から「産業界や地域の課題解決」や「研究成果の社会実装」を視野に入れ、理系文系を問わず、広範な研究分野において、恒常的に産学官連携が推進されている

- 実績例
- ◆文部科学省:大学等産学官連携自立化促進プログラム  
中間評価 **S評価**
  - ◆日経グローバル:大学地域貢献度ランキング  
上位の常連 **平成23年は731大学中 2位**
  - ◆共同研究数や、特許出願数等  
**地方大学の中でトップクラス**



信州大学で、科研費:基盤S・A、若手Aに採択された研究代表者の産学官連携関与度

◇中核分野において、産業界や行政機関等と高密に連携した4つの『研究・産学官連携拠点』が形成され、多数の実績を創出している

- 実績例
- JST:地域卓越研究者結集プログラム
  - 文部科学省:知的クラスター創成事業2期10年
  - 経済産業省支援によるインキュベーション施設5棟の学内への設置
  - イタリアのベネト州等とのクラスターレベルでの国際連携
  - 拠点ごとに大規模な企業コンソーシアムを形成 **他多数**

# 信州大学の研究・産学官連携拠点

バイオ・ライフサイエンス分野  
文理融合分野

## ○バイオ・ライフサイエンス研究拠点(松本、伊那)

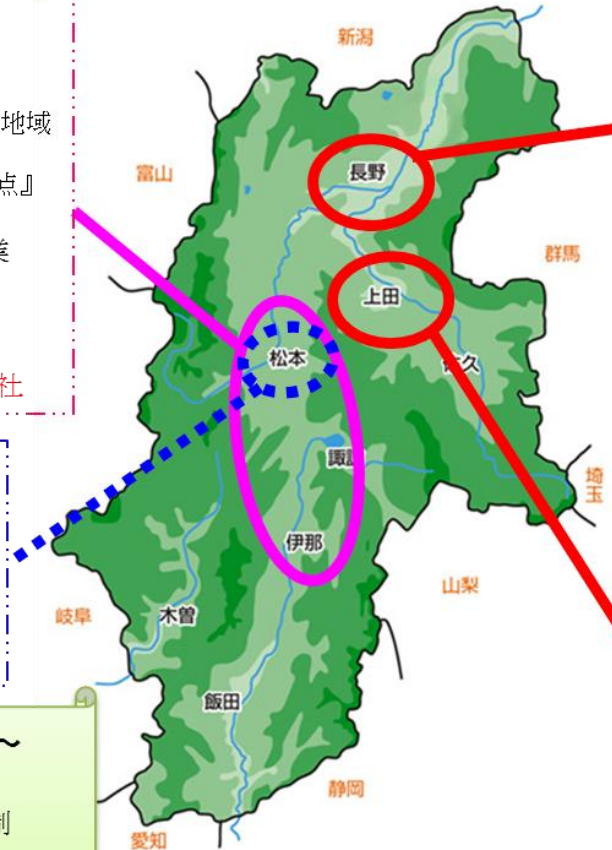
- ・研究・産学官連携拠点形成事業  
JST地域産学官共同研究拠点整備事業  
『信州メディカルシーズ 育成拠点』  
文科省・経産省・農水省 地域イノベーション戦略推進地域  
(国際競争力強化地域)  
『次世代産業の核となるスーパーエンジェル供給拠点』
- ・インキュベーション施設  
経済産業省「技術の橋渡し」拠点整備事業  
『信州地域技術メディカル展開センター』
- ・企業コンソーシアム  
信州メディカル産業振興会：会員企業 132社  
信州機能性食品開発研究会：会員企業 41社

## ○文理融合拠点(松本キャンパス)

- ・研究・産学官連携拠点形成事業  
自己資金『東アジア山岳科学』  
文科省 大学等産学官連携自立化促進PG  
(機能強化支援型)  
『信州産学官連携機構(SIS)』

### ～大規模な県内の産学官連携ネットワーク～

総勢62名の信州大学 産学官連携推進本部  
県内の19の大学・高専・短大との学学連携体制  
県・自治体の産学官連携担当者(100名超)  
金融機関の委嘱コーディネータ(106名)



## ○国際ナノマテリアル研究拠点(長野工学キャンパス)

- ・研究・産学官連携拠点形成事業  
JST 地域卓越研究者戦略的結集PG  
『エキゾチック・ナノカーボンの創成と応用』  
文科省 地域イノベーション戦略支援PGグローバル型 第Ⅱ期  
『信州スマートデバイスクラスター』  
自己資金『グリーンイノベーション研究会』
- ・インキュベーション施設  
経産省 立地促進等共用施設整備費補助金  
『信州科学技術総合振興センター (SAStec)』  
長野市『長野市ものづくり支援センター(UFO)』
- ・企業コンソーシアム  
信州大学ものづくり振興会：会員企業 141社

## ○国際ファイバー研究拠点(上田キャンパス)

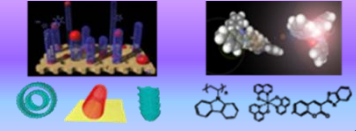
- ・研究・産学官連携拠点形成事業  
文科省 グローバルCOEプログラム  
『国際ファイバー工学教育研究拠点』  
JSPS 先端融合領域イノベーション創出拠点の形成  
『ナノテク高機能ファイバー連携・融合拠点』  
JSPS 若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業  
『ファイバーナノテク国際若手研究者育成拠点』
- ・インキュベーション施設  
経産省 地域企業立地促進等共用施設補助金  
『ファイバーイノベーション・インキュベーター(Fii)』  
上田市『浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)』
- ・企業コンソーシアム  
AREC・Fiiクラブ：会員企業 180社

ナノマテリアル・ファイバー・環境分野

# 信州大学URAによる研究・産学官連携拠点形成の実例

**信州大学が世界トップクラスの実績を持つ  
材料研究の発展・拡大**

カーボンナノチューブ、ナノファイバ-他



**産業界や地域の課題解決**

全国屈指の集積を誇る  
超精密技術の将来発展



URAが牽引

高度な臨床実績と多診療科での医工連携実績を持つ  
信州大学医学部・附属病院を核に、  
**メディカル機器開発を中心とする**  
**『研究・産学官連携拠点』を構築**



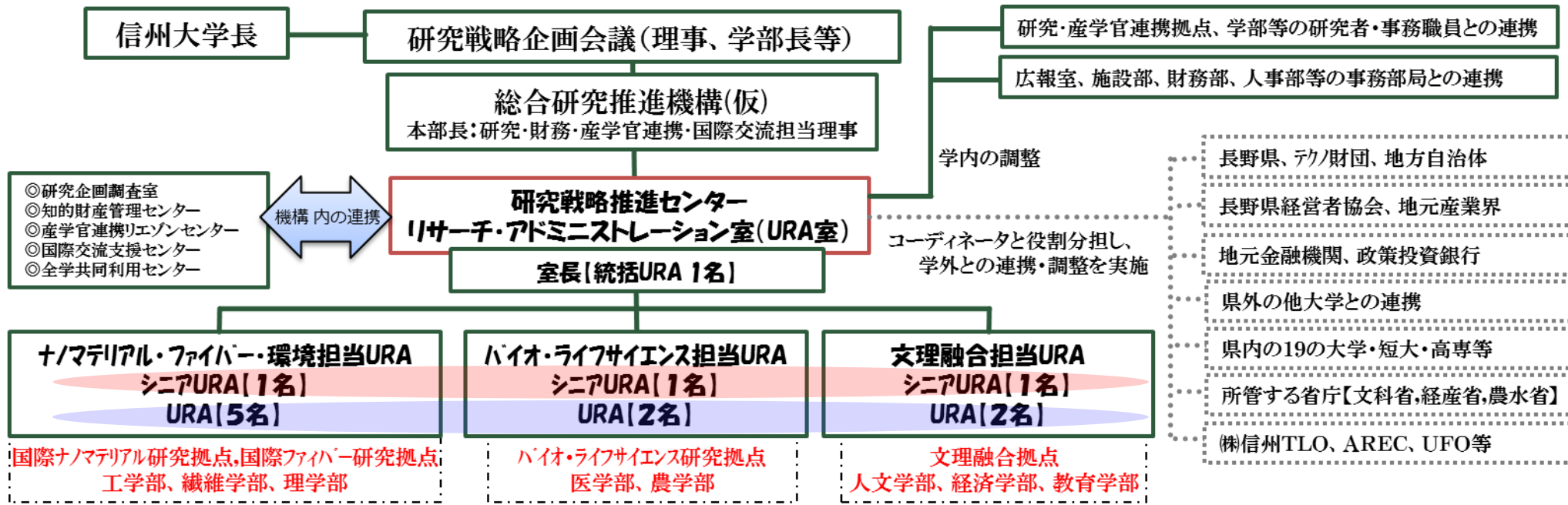
- ◆カーボンナノチューブ含有強化型人工関節の研究開発（左写真）
- ◆新規生体適合性材料を用いた次期植込型補助人工心臓の研究開発
- ◆超高速RT-PCRの研究開発

- 2次級URA が、学内および産業界や行政との密接な調整を図り、戦略構築、具体的事業企画、基盤事業申請書作成
- URAや産学官連携CDNが連携し、個別研究のトータルマネジメント（外部資金獲得、臨床研究、薬事対応等）

文科省、経産省、農水省 「地域イノベーション戦略推進地域（国際競争力強化地域）」 【イノベーション戦略構築】  
 文科省 地域イノベーション戦略支援プログラム 【医工連携関連人材の育成】  
 経産省 技術の橋渡し拠点整備事業 【医工連携インキュベーション施設の建設】  
 JST 地域産学官共同研究拠点整備事業 【医学的解析機器の整備・共用化】  
 長野県 平成24～28年度 ものづくり産業戦略振興プランの筆頭に「メディカル関連機器」  
 企業コンソーシアムの設立・運営 【地域企業を中心に会員企業132社の振興会を設立・運営】  
 ドイツ・スイスや、浜松等との、メディカル機器クラスター間連携  
 個別の研究開発補助金獲得 経産省 課題解決型医療機器の開発事業 3件、ナノ材料の安全・安心確保事業、他



# URAの配置とチーム活動による効果



URA室は週一回のミーティングを実施。新規URAは採用後半年程度、一か所で研修。担当分野毎に、シニアURAとURAのチームで活動し以下の機能を効果的に発揮させる。

- ◆研究成果の効率的な管理
- ◆競争的資金の採択率の向上
- ◆次世代の核となる研究の早期発掘
- ◆若手URA育成

担当分野が異なる、シニアURAやURAの横の連携で異分野融合・文理融合を促進する。

# 信州大学URAの職務内容

- 地方自治体・産業界との密接な連携、研究・産学官連携拠点の事業企画策定  
【各機関のトップ・研究者間・大型事業プロジェクトマネージャ・実務者との調整】
- 研究・産学官連携拠点の運営・マネジメント  
【企業コンソシアム運営、知財・市場展開戦略策定、国内外のクラスター間連携、学内の事務責任者との連携】
- 国や自治体の産業政策に対する調査・分析及び提言と研究・産学官連携拠点の事業計画への反映
- 研究・産学官連携拠点の運営強化  
【大型研究費獲得、次世代の核となる研究の発掘・育成、インキュベーション施設の戦略的運用】
- OJT教育を通じた若手URAの指導及び人材育成、座学を通じた若手URA・各事務部局の高度化、大学院生へのURA教育の実施

## ◎共通項目

- 研究者単位での研究戦略の企画立案の支援、研究資金の獲得
- 学部事務担当者との連携
- 公募情報の収集と活用、申請書・計画書・報告書の作成支援
- 技術移転(製品化・事業化)
- 地域性・市場・特許・研究動向等調査、広報との連携
- 国際交流・産学官連携事業の推進

## ◎ナノテリアル・ファイバー・環境担当(例)

- 社会実装時におけるCO<sub>2</sub>削減量の把握
- 自然エネルギー賦損量の推定

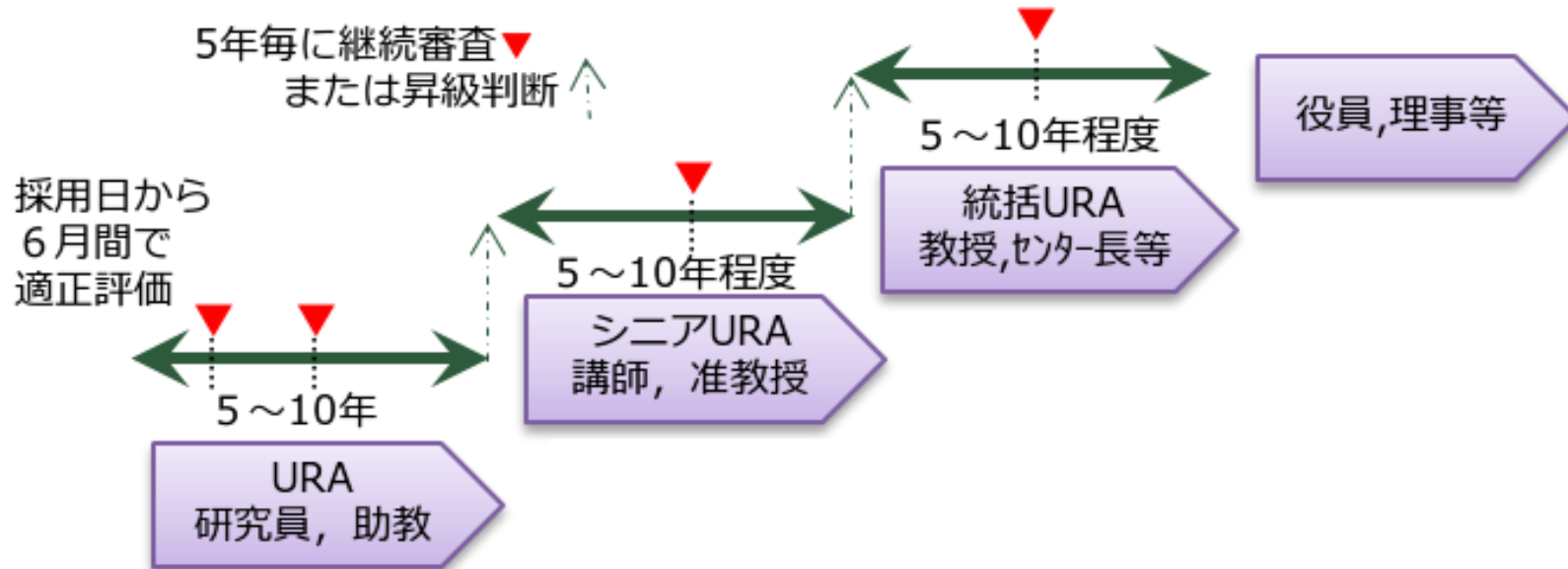
## ◎バイオ・ライフサイエンス担当(例)

- 臨床研究や治験の手続き
- 医薬品・医療機器承認
- 生命倫理(利益相反を含む)への対応

## ◎文理融合担当(例)

- グラウド戦略構築
- 市場調査、ビジネスプラン立案
- 地域づくり人材の育成
- 各規制調査・分析

# 信州大学でのURAキャリアパス



- ◆ **本補助金URAは常勤職教員ポストで雇用**（特定有期雇用教員、再任可）
- ◆ 採用日から6月間で適正評価
- ◆ 採用より5年目毎を基準として、**URA教員独自の評価基準により審査**（昇進、継続等）
- ◆ シニアURAとして能力が熟成すれば、学長裁量教員枠等で、**任期の定めの無い常勤職教員で雇用**